

謹賀新年

平成三十一年 新年のごあいさつ



議会 Assembly

明けましておめでとうございます。
市民の皆様には、希望に満ちた新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。
旧年中は市議会活動に対し、温かいご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、昨年は6月の大阪北部地震をはじめ、西日本豪雨や関西国際空港が大規模冠水した台風21号、北海道胆振東部地震と災害が続発しました。このように「これまでの常識」を超えた気象災害により地域住民の生命、財産を脅かす災害が多数発生しております。
本市では、平成21年に大謝名団地自治会が本市初の自主防災組織を結成してから、昨年で10自治会が自主防災組織を結成しております。本年も地域住民の皆様のご意見・要望等を聞きながら、生命、身体及び財産を守るための施策に取り組み、さらに市民自主防災組織の育成を支援してまいりたいと思います。
本市では基地跡地の未来を担う国際的な視野を持った人材を育成するため、ふるさと納税を活用したガバメントクラウドファンディングにより市内の中学生に海外留学を経験させる事業を行っております。どうか、本市が置かれた現状をご理解いただき、多くの皆様からの温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。
本市の主要事業でありますキャンプ瑞慶覧西普天間住宅地区の返還跡地利用計画も着実な進捗が見えており、未来に繋がるまちづくりに向け、市議会としても行政当局と政策議論しながら、取り組んでいく所存でございます。
市議会については、昨年の9月9日に執行されました宜野湾市議会議員選挙におきまして、市民の皆様

負託を受け、第21期市議会議員として26人の議員が10月の定例会より、議会・議員活動に取り組んでおります。平成28年に制定しました議会の最高規範となる「宜野湾市議会基本条例」を基に、市民の代表機関として、議会に与えられた使命を深く認識し、その役割をしっかりと果たしつつ、議会の活性化を図るべく、議会改革に取り組み、これまで以上に開かれた議会を目指していく決意であります。
昨年5月には、3回目の「議会報告及び市民との意見交換会」を開催し、合計で115名のご参加をいただきました。皆様からいただいたご意見やご要望は市政の課題として捉え、調査や検証を行い、議会として政策立案や市長への政策提言に繋げるよう努めてまいりました。
また、平成29年9月定例会からは、政策論点、争点を広く市民に明らかにし、議会活動への理解と関心を高めるとともに、議会審議の活性化を目的に、インターネットによる議会映像配信を始めました。引き続き、市民に開かれた信頼される議会を目指し、全力で取り組んでまいります。
私ども市議会も本市の将来都市像として掲げております「人がつながる 未来へつなげる ねたてのまち宜野湾」の実現を目指して、精いっぱい努力していく所存でありますので、皆様のなお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。
結びに、新しい年が夢と希望に満ちあふれた素晴らしい一年となりますよう、皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

平成31年1月吉日

宜野湾市議会議長
上地 安之



行政 Administration

明けましておめでとうございます。
輝かしい希望に満ちた新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。
また、旧年中は本市政へのご理解とご協力を賜わり、心より御礼申し上げます。
昨年は、大阪府北部地震をはじめ、西日本豪雨、北海道胆振東部地震など、災害の多い1年でありました。また、沖縄県内におきましても、台風21号及び台風24号と度重なる大型台風の襲来に伴い、甚大な被害が報告されております。災害に遭われた皆さまに対しまして、衷心よりお見舞い申し上げます。
さて、本市最大の課題である「普天間飛行場」の問題につきましては、本年8月で沖縄国際大学へ米軍海兵隊所属ヘリコプターが墜落・炎上するという重大事故から15年目を迎えます。周辺住民の危険性除去が喫緊の課題であると常日頃から痛感しているところですが、その後も普天間飛行場所属機のトラブルが後を絶ちません。本年も市民の生活環境に大きな負担を強いている普天間飛行場の固定化阻止に向け、粘り強く基地の運用停止及び一日も早い閉鎖、返還並びに市民の目に見える形での基地負担軽減に取り組んでまいります。
昨年3月に地権者へ引き渡されたキャンプ瑞慶覧西普天間住宅地区跡地につきましては、琉球大学医学部、同附属病院を移設し、「沖縄健康医療拠点を核とした都市機能と、水・みどり・文化の調和した住環境が広がるまち」の形成に向け、取り組んでまいります。
基地跡地と連動した市街地整備を進めるため、市民が長年待ち望んだ市道宜野湾11号道路整備事業を用

地取得等の地権者合意を図りながら、早期の整備、供用開始を目指してまいります。
かねてより進めておりました、志真志小学校の校舎増改築事業につきましても、本年度で整備を終えるほか、教育の情報化推進に向け、市内小学校へICT機器の整備や、普天間未来基金を活用した市内居住の中学生を対象とする全額補助の短期海外留学派遣事業の実施など、未来を担う子どもたちの健全な成長を支援する各施策を実施してまいります。
市内の産業振興につきましては、店舗リフォーム助成制度を創設し、空き店舗対策事業の充実を図るほか、「スイーツのまちぎのわん」の宣言に向けて、スイーツ開発をはじめとした取り組みを推進してまいります。
本年も「人がつながる 未来へつなげる ねたてのまち宜野湾」の将来都市像の実現に向け、活気にあふれ、豊かで住みよいまちづくりを目指し、職員一丸となって邁進してまいりますので、引き続き皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。
結びに、新しい年が市民の皆様にとりまして、実りの多い素晴らしい一年となりますよう、心から祈念申し上げます。

平成31年1月吉日

宜野湾市長
松川 正則

